

朝鮮半島危機をおおるのは誰か？ 安倍政権は戦争をもてあそぶな！ 5・14 緊急集会

2017年5月14日
主催 リブ・イン・ピース9+25

1 その後の朝鮮半島情勢

- ・状況は変わった？
- ・軍事的緊張と威嚇から話し合いの模索へ



朝鮮半島危機と新しい局面 安倍の戦争法発動・米艦防護

1 1 米軍は最大限の威嚇

- ・カールビンソン日本海に入る
- ・演習にB1爆撃機、F35投入
- ・THAAD 配備・稼働
- ・原子力潜水艦ミシガン釜山へ



「最大の圧力と関与」
威嚇戦術は一旦は行き詰まり

報告のポイント

- ・4月16日の集会以降の状況の変化
- ・安倍政権の異常に前のめり戦争体制作り
- ・朝鮮半島を巡る今後の見通しについて

1 2 15日/25日 北朝鮮

- ・4月15日 金日成生誕105年 軍事パレード
- ・4月16日 ミサイル発射 発射直後に爆発
- ・4月25日 建軍85年 長距離砲の大演習
- ・4月29日 ミサイル発射 失敗
- ・核実験は行われず



北朝鮮の長距離砲が26日発射した。軍による攻撃演習の画像 (AP/ロイター)

1 3 局面の変化 米朝交渉が前に

5月1日 トランプ
「正恩氏と会談」に
言及
5月8日 米朝秘密
会談 公表



2 隙あらばやっつけてしまえ

- トランプの軍事挑発を全面支持の異常な好戦性
- 空襲警報 (Jアラート) を鳴らしまくり 異様な雰囲気へ
- 「米艦防護」で戦争法を発動
- 憲法9条に「自衛隊」を加憲する改憲案提案



1 4 文在寅政権の成立 (5月9日)

- 左派の大統領
- 戦争には絶対反対
- 北朝鮮との対話 (条件整えば平壤に行く)
- (開城再開)



2 1 J-アラート (全国瞬時警報システム)

- 4月29日 地下鉄と北
陸新幹線が止まった
学校にミサイル避難の通
知が下りた
今後、上空通過でも発令
鳴ったら、
- 列車9割停止
 - 航空会社も停止
 - スポーツ試合即刻中断

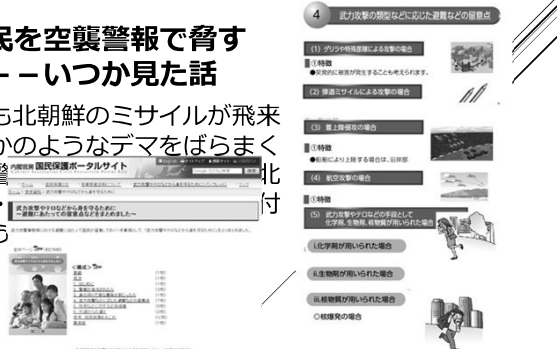


文在寅政権の成立

- THAADは次期政権が決定
- 米韓同盟はどうか/米日韓の体制は/
- 韓日関係は「慰安婦合意」を巡り対立

国民を空襲警報で脅す ——いつか見た話

今にも北朝鮮のミサイルが飛来するかのようなデマをばらまく
空襲警報 北朝鮮・けよう



ミサイルからの避難 大阪府版

市民の皆さまにへアヒたがまわい行動

● 屋外で
でき
(コ)

● ご家庭でミサイル発射の警報等聞いたときは

● 学校でミサイル
・グラウンドに
・校舎内に避難
・校舎内にいる
机の下に隠れ

● 幼稚園・保育所でミサイル発射の警報等聞いたときは
先生は園児等を、速やかに施設内に避難させて、
安全を確保してください!

ハスのか

○ 避難場所の中心部を避ける
○ 窓から隠れて体を見ない
○ 壁や柱など固いものに隠れ、頭を守る

○ 避難場所の中心部を避ける
○ 窓から隠れて体を見ない
○ 壁や柱など固いものに隠れ、頭を守る

22 米艦防護

米補給艦「リチャード・E・バード」
を「いずも」「さみだれ」が護衛

1951年アメリカ

忘却からの精選
<http://seesaaw>

米艦防護 また嘘

戦争法審議の際、「日本人避難民を乗せた米艦を守れないのか」と説明した
→ 実際には北朝鮮を威嚇する
カールビンソンへの輸送艦の護衛

「情報は国民に説明する」
→ 説明しない

1976年イギリス

What to do on hearing an Attack Warning:

At home

If you are at home, you should:

Check doors, bring down fire, close windows, close curtains, turn off gas, turn off lights, turn off appliances.

At work or elsewhere

If you are at work or elsewhere, you should:

Check doors, bring down fire, close windows, close curtains, turn off gas, turn off lights, turn off appliances.

In the open

If you are in the open and cannot get home within ten minutes, you should:

Get down, cover your head, and stay in the open until the all-clear is given.

Stay in your refuge

The refuge will be for use when you are at work or elsewhere, and you are unable to get home within ten minutes. It may be a refuge for a short period only. You should not stay in the refuge for more than ten minutes. You should not use the refuge as a permanent home.

「米艦防護」の問題点

護衛艦「いずも」の航行ルート

海自横須賀基地出港

米海軍補給艦と合流

米補給艦

いずも

太平洋

武力による威嚇を行う米空母と一体でこれを直接支える軍事作戦に正式に参加
→ 「武力による威嚇」

参戦に直接つながる可能性

- ・ 自衛隊法第95条の2 「戦闘行為が行われていない場所で、日本の防衛に資する活動中」の米軍などの艦船の護衛
- 米艦が攻撃された場合 「武器の使用」を認めている。
- 米艦が攻撃を受けた時点で戦争と「集団的自衛権」を前提とする「武力攻撃事態法」の「存立危機事態」に切り替わり、米軍と共同で戦争に突入していくことになる。その場合「緊急」を口実に国会承認なしに自衛隊の出動＝戦争が可能になる。
- この場合米艦防護の「防衛大臣命令」だけで、市民が全く知らないまま戦争に突入する。

沖縄の米軍基地は

【北朝鮮情勢】米空軍、臨戦態



12日に米軍空母打撃群が派遣された。写真は

特殊部隊支援船、沖縄に寄港＝LS待機か



那覇軍港に寄港した米軍の特殊部隊支援船「C-7 SEALS (シールズ)」などを支援するとされる。

米軍の特殊戦闘機 韓国上空に緊急出動＝北朝鮮核実験に備え

【ソウル通信】米軍の特殊戦闘機が韓国上空に緊急出動しているとの見方が出ている。米空軍の特殊戦闘機部隊が、北朝鮮の核実験に備えて緊急出動している。米空軍の特殊戦闘機部隊は、北朝鮮の核実験に備えて緊急出動しているとの見方が出ている。



出動は北朝鮮の核実験が近く実施されるとの情報に基づいて行われたが、結果が明らかになった場合の本格的な北朝鮮に対する軍事行動である可能性が指摘されている。米空軍の特殊戦闘機は「北朝鮮の核実験に備えて緊急出動している」と見られている。

23 空母打撃群との共同訓練

- 米空母共同訓練
- 自衛艦2隻「あしがら」「さみだれ」
- 那覇の航空自衛隊F15
- 事実上の護衛・周辺の航空機/潜水艦制圧
- 米艦防護そのもの



24 改憲

- 現在の自衛隊の活動を正当化するもの
- 9条1・2項に自衛隊合憲の3項を追加
- 高等教育無償化
- 2020年までに施行
- 日程、内容を首相が立法府に指示の傲慢



「米艦防護」は日本海でも可能

- 法律は適用可能
- 戦闘になる可能性
- 閣議決定もなしで参戦する可能性



3 話し合いしか解決の道はない

- ・ 朝鮮半島の戦争では想像を絶する犠牲ができる。いかなる攻撃も、威嚇もするべきではない
- ・ 1994年、北朝鮮への軍事攻撃を検討したクリントン大統領の安全保障会議での試算
- ・ 「戦争が勃発すれば、開戦90日間で▲5万2千人の米軍が被害を受ける▲韓国軍は49万人の死者を出す。戦費は1千億ドルを越える
- ・ 当時、在日・在韓米軍は併せて約6万2千人。韓国軍は65万人。駐韓米軍司令官も「南北間の隣接性と大都市戦争の特殊性からして米国人8万～10万人を含む100万人の死者が出る」と報告していた。

3 1 朝鮮半島非核化を巡る経過

- 3つの危機
 - 1993-4年危機
 - 2007年
 - 2017年
- 1993年まで
 - 1985年 NPT加盟
 - 1986年 黒鉛炉、再処理開発開始
 - 1992年 IAEAと包括的保障措置協定締結

米朝枠組み崩壊(2003年)

- 95年 KEDO発足
- 00年 南北首脳会談
- 02年 日朝首脳会談
- 02年10月 **米が高濃縮ウラン計画非難**
- 12月 監視カメラ除去、IAEA査察官退去
- 03年1月 NPTから脱退を宣言

93-94年危機

- 寧辺黒鉛炉周辺で爆縮実験と米報道／北朝鮮 IAEA特別査察を拒否
- 米が北に対する攻撃を検討／軍事攻撃では恐るべき被害が出ると断念
- 1994年6月、ジミー・カーター元米大統領が訪朝し、金日成国家主席と会談。
- 1994年10月、米国と北朝鮮の間に**米朝枠組み合意**が成立。

3者協議から6者会合

2003年4月 三者協議

北朝鮮の提案 一括受結方式

- | | | |
|------|-------------------|-------------------|
| 第1段階 | 重油提供、食糧支援 | 核計画放棄の意図を表明 |
| 第2段階 | 不可侵条約締結
電力喪失補償 | 核施設と核物質凍結
査察許容 |
| 第3段階 | 米朝/日朝国交正常化 | ミサイル問題受結 |
| 第4段階 | 軽水炉完工 | 核施設解体 |

※米側は全ての核開発の完全恒久的廃棄

※北は使用済み核燃料8000本の再処理と核保有、製造、移転を示唆

米朝枠組み合意(94年)

1994年10月、米国と北朝鮮の間に**米朝枠組み合意**が成立。

- 1.北朝鮮の**黒鉛減速炉**および関連施設を**軽水炉**に**転換**する。このために国際事業体を組織し、2003年までに**軽水炉2機**(発電容量約2000メガワット)を**建設**する。
- 2.米国は軽水炉1号機が完成するまで、北朝鮮に対して**代替エネルギー**(年間50万トンの暖房・発電用重油)を供給する。
- 3.北朝鮮は**黒鉛減速炉**と関連施設の**建設を凍結**し、最終的にはこれらを**解体**する。
- 4.**米朝は国交正常化に向けて行動**する。

6者会合合意(2007年2月)

共同文書で採択された合意内容

- 1.北朝鮮が60日以内に寧辺の核関連施設(再処理施設を含む)の停止および封印を行い、IAEAによる監視を受け入れる。(初期段階措置)
- 2.北朝鮮は放棄の対象となる核開発計画(使用済み燃料棒から抽出されたプルトニウムを含む)の一覧表について、他の五者と協議する。
- 3.他の五か国は見返りの緊急エネルギー支援として**重油5万トン**を支援する。北朝鮮が施設を無力化することで、95万トンの重油に相当する規模を限度とする**経済・エネルギー・人道支援**を行う。
- 4.米国と北朝鮮は**国交正常化のための協議**を始めると共に、米国は北朝鮮の**テロ支援**国家指定の解除や**対敵通商法の適用終了**の作業を進める。
- 5.日本と北朝鮮は**国交正常化のための協議**を進める。
- 6.「朝鮮半島の非核化(議長:中国)」「**経済・エネルギー支援**(議長:韓国)」「**日朝関係正常化**(議長:日本・北朝鮮)」「**米朝関係正常化**(議長:米国・北朝鮮)」「**北東アジアの安保協力**(議長:ロシア)」の5つの作業部会を設置する。
- 7.初期段階の措置が実施された後、六者による外相級閣僚会議を行う。

6 者会合破綻(2007-8年)

2007年 寧辺原子炉無力化
2008年 冷却塔破壊 / 10月テロ支援国家指定解除

2007年3月 **第6回六者会合**
BDAの北朝鮮口座変換で米朝合意
資金の返還確認できないと**北朝鮮参加拒否**
ブッシュ政権 政権内タカ派の台頭
交渉をせず、放置すれば北朝鮮が崩壊すると考える

北朝鮮 ミサイル開発/核実験進める
2009年 4月 人工衛星発射
5月 核実験(2回目)

米朝間の話し合いしかない

トランプ・安倍政権 「最大の圧迫と関与」戦略
「核放棄・ICBM開発放棄」を認めれば交渉
あらゆるオプションがテーブルの上に
→**軍事力行使、大規模戦争の可能性**

北朝鮮は「核保有国」を前提に対等の交渉めざす

前提なしに交渉するしか道はない。

5 結論

朝鮮半島及び周辺での戦争、戦争挑発に反対する
脅威の源泉は米日(韓)にある
日本の安倍政権の好戦的対応、戦争政策に反対する
話し合いによる朝鮮半島の非核化と米朝平和条約・日朝国交正常化の方向を求める